

# 保戸島ウォーキングmap

ウドとは穴のこと。ほら穴があり、昔、藤原純友氏が海賊征伐にきたが、自ら海賊の頭となり、このウドと日振島を結んで活動の拠点としたと伝えられています。昔も今も保戸島は豊後水道の要所なのです。

黒坂島がよく見えます。押上がりというだけに崖を押して上がるほど流れが早い場所です。

石籠山 3 ちよつと緊張する参道を登れば絶景に感激!

押上りトンネル

埋め立て地。住宅がひしめいています。アパートではなく色が違う家はすべて別の家。くっついて建っています。

Aコース 足に自信のある方は… 細い急な傾斜を通り抜けるとえびす様があり、ここから見る海の眺めは最高です。えびす様は大坂の西成区よりつれてこられました。漁の神様として祭られています。

### 保戸島を歩こう! おすすめコース

- Aコース 30分 —— 加茂神社コース
- Bコース 1時間 —— 海徳寺より民家を過ぎて山道を越え二目の港を散策するコース
- Cコース 1時間30分 —— 海徳寺コース
- Dコース 30分 —— 海徳寺コース
- Eコース 1時間 —— 海徳寺より民家の間を通り爆撃の慰霊碑を廻るコース
- Fコース 1時間30分 —— 海徳寺より民家の間を通り爆撃の慰霊碑を廻るコース



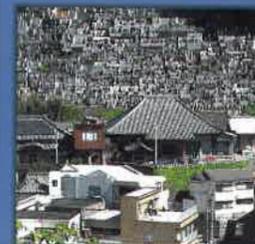
3 石籠神社 海上安全を祈願して勧請。



4 加茂神社 保戸島の守護神として京都の上加茂神社から遷移動請。夏の大祭ではここから御輿が出発します。



6 法照寺 真言宗西本願寺派。



7 海徳寺 浄土宗知恩院末。



8 御大師様井戸 真言宗華嚴の権にある井戸は、岩湧水による良質の水で、水道前まで村内の飲料水でした。



11 漁業通信速報 この通信板を見れば、保戸島のまぐろの活動かひと目でわかります。



13 御虎御前様 虎御前伝説は各地にあります。この保戸島では厄病除けの祭神とされています。



2 瀬の浜

タカゴ(高甲岩)を見渡せます。瀬の浜まで行けませんが、安全のためここまでがよいでしょう。奇岩がたくさんあります。

岩場を越えます。歩行注意。

クロメ・ひじきを炊く鉄釜。大きな釜でみんなて夏に長時間炊きます。

小さな階段の道を上ります。大雨が降ると川のようになります。

保戸の集落を見下ろせるスポット。記念撮影ポイント

海徳寺境内 正面に津久見のセメント工場の煙突が見えます。ここから14Km離れています。

骨地藏 終戦の半月前小学校に爆弾が投下され、127名の命が失われました。海徳寺にはその遺骨を納めた地藏様があります。7月25日の命日には島をあけての法要が行われ、県下のたくさんの小学校から慰霊祭にこられます。



10 景行天皇の腰掛石 12代天皇である景行天皇がクマノ征伐の際に立ち寄り「ホツメの門」と名付けられました。この辺りは埋立て地で、埋立て前はここまで潮が来ており、この小さくみえる岩も巨大な岩でした。

狭い路地を通ります。場所によっては雨でも傘がいらぬところも…

8~12月頃、大きなエイがたくさん入ってきて泳ぐ姿も上からよく見えます。

漁業通信速報 保戸島漁村センターには、まぐろの漁の状況が貼り出されています。今、各船がどうしているのかが一目でわかります。



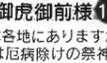
1 遠見山から見た高甲岩



鳥の甲に立っている観音様です。中人島観音様

14 戦没学徒慰霊碑 今でも小中学校の生徒が月命日の毎月25日には掃除をし、戦争の悲惨さを風化させないような取り組みをしています。

島の隣の港。先まで行くと夏には泳いだりできます。



13 御虎御前様 虎御前伝説は各地にあります。この保戸島では厄病除けの祭神とされています。

間元海峡 本土がすぐそこに、流れが激しい場所です。

ビューポイント